

羽田発、先端技術と文化の融合

羽田イノベーションシティ（略称：HICity）は、大田区と羽田みらい開発株式会社[※]が公民連携でまちづくりを進め、グランドオープンしました。[先端技術]と[文化]を軸に、人々が集まり交流が生まれ、イノベーション創出の拠点となることをめざしています。また、持続可能な都市の構築に向け、さまざまな実証実験を行っています。

[※] 鹿島建設株式会社を代表企業とする9社が設立した、HICityを開発・運営するために設立された企業



11月16日 グランドオープン記念式典

令和2年7月から一部施設が先行オープン。ゾーンA～Cが完成し、ついに11月16日に施設全体のグランドオープンを迎えました。グランドオープンを記念し、17～19日には「Grand Opening Event」が開催され、多くの方々にぎわいました。



スマートシティの取り組み ～自動運転バスの実証実験例～

全国的なバス運転手不足など地域課題の解決をめざし、HICity内で運行しています。

自動運転レベル4の実現へ

自動運転レベルとは、車のハンドルやブレーキ操作が、システムによる自動運転でどの程度まで可能なかを示したレベルです。HICityでは、特定の条件下で完全自動運転が可能となるレベル4の走行をめざしています。



運行情報はコチラ ▶

自動運転バスは、どなたでも予約せずに乗車できます

▶ 問合せ先 産業振興課産業振興担当 ☎5744-1641 ☎6424-9922

Grand Opening Event



イベントではロボットとの交流や国内外の物産が楽しめるマルシェが行われました。

1月末オープン 空港課題の研究開発拠点 「terminal.0 HANEDA」



terminal.0 HANEDAは、便利でストレスフリーな羽田空港をめざし、空港の課題解決に異業種連携で取り組む、企業参画型コワーキングスペースです。「空港」をテーマに、利便性・快適性などについて研究開発や実装が行われます。

足湯スカイデッキ

温泉文化を足湯で気軽に体験できます。飛行機を身近に眺めることができる人気スポット。夜景もきれいです。



水素ステーション

燃料電池自動車（FCV）の燃料である水素を供給するステーション。乗用車から燃料電池バスなどの大型車まで水素の供給が可能です。



高度医療を発信 「藤田医科大学東京先端医療研究センター/羽田クリニック」

「次世代医療の常識を創る」をめざし、藤田医科大学の医師・研究者と医療関連企業が最先端の医療や医療機器などの研究・開発を行う施設です。精密健診/検診をはじめ、再生医療やがんゲノム医療など、一人ひとりに最適な医療を提供しています。



上層部には滞在施設として「ホテルメトロポリタン羽田」もオープンしました。

立ったまま全身撮影可能な「立位CT」

PIO PARK (HANEDA×PIO内)



大田区発の産業交流空間。入場無料の展示エリアのほか、イベント開催やコワーキングスペースとして利用可能です。

新空港線(蒲蒲線)がつながるHICity

新空港線は東急多摩川線矢口渡駅の付近から地下化し、蒲田駅・京急蒲田駅の地下を通って京急空港線に乗り入れる計画で、現在、京急蒲田駅までの区間について検討が進められています。新空港線の整備により蒲田・大森地区などとの連携が強化されることで、HICityを核にもつくり産業・流通業などの活性化につながることを期待されています。また、区内の移動利便性の向上、災害時の代替ルートの確保、自動車から鉄道への転換によるCO₂の削減などさまざまなメリットがあります。

▶ 問合せ先 鉄道・都市づくり課鉄道・都市づくり担当 ☎5744-1212 ☎5744-1526



アクセス

- ▶ 所在地 羽田空港1-1-4 (京浜急行電鉄空港線・東京モノレール「天空橋駅」直結)
- 駐車場 190台(平置き)、80台(機械式)
- 自転車・バイク駐輪場、コミュニティサイクルポート有り

羽田イノベーションシティに入居している企業にインタビュー

羽田は経営者が求める迅速さを実現できる場所

イービーエム株式会社代表取締役 朴 栄光さん



大田区で創業し、東日本大震災からの復興への一助として福島にラボを設立しました。今は海外でも活動しています。コロナ禍で羽田が開港して以降は、手術トレーニング可能なシミュレーションルーム・医療技能訓練所をHICityに投資して作ったのは、日本のハブ空港である羽田空港に近いという利便性からです。経営者にとって時間の使い方は重要です。羽田は日本全国から技術者を呼ぶ、海外へ行く、海外から呼ぶことが迅速にできます。空港に着いてすぐのつくりの環境を見てもらえ、羽田からは30分圏内で都内の要所に移動でき、4,000万人規模の首都圏内のアクセシビリティは海外では考えられないほど素晴らしいものです。この好立地を生かして、令和4年からPIO PARKでも、全国から外科医や医療機器メーカーが集うハブエクス（手術技能訓練）をイービーエム羽田医療技能訓練所と連携して、開催しています。今後は海外からも参加してもらいます。

日本経済の中心部にあり、国内外移動の利便性が高く各企業と連携やすく、さらにはオリジナルのもののつくりの技術力を持っている大田区は、海外で勝負できる将来性があります。

まだ海外では知られていないことも、区内には優良企業、特にオーナー企業が多く、経営に必要な決断力・即決力を発揮できるのも今後、海外に向けても強みとしていくのではないのでしょうか。

また、企業への区からのサポート力が強く、私の経営する会社も協働や支援を得て発展しました。他自治体との連携サポートも頼りになります。

大田区から日本のものづくりで世界に貢献し、インバウンドを呼び込む。私は皆と一緒に徹底的に挑戦していく。そんなミッションを楽しんでいます。

朴 栄光 / 平成18年大田区で創業。手術訓練シミュレータの開発や外科技能の定量化に関する研究、国内外でハブエクス研修を実施。令和3年にHICityゾーンKにてイービーエム羽田医療技能訓練所開設。令和4年度「卓越した技能表彰者（現代の名工）」に選定



ゾーンK内 イービーエム羽田医療技能訓練所

人と人とのつながりを深めイノベーションを起こす場

METALISM代表運営者／エビナ電化工業株式会社代表取締役社長 海老名 伸哉さん



私の会社では大田区で創業以来、各種素材にめっき（表面処理）を施す業務を77年続けています。「METALISM（メタリズム）」は、我が社を含め分野・業種を超えた製造業7社が集結し、新たな価値を創るべく羽田で始動しました。国内外の人の流れが増えることや将来的な可能性に期待してHICity内を拠点としました。新しいものを生み出すには、まずは人と人との関係性を作り、深めることが大切です。一緒にやろうというモチベーションがなければ進みません。顔見知りから顔なじみへ、ここは仕事以外の話も楽しみながら、互いの人となりを知りつなげるサロンです。研究開発や新たな事業展開の可能性を見いだす場、新たな付加価値を創造する場でもあります。ここでの交流から、ビジネスチャンスが生まれています。昼はコーヒー、夜はお酒も嗜みます。PIO PARKでは超専門技術ミニ展示会やHANEDA共創プラットフォームなど区内事業者が国内外と交流し発信する機会があり、ビジネスチャンスにもつながっています。

一方、私は大田区のSDGs推進会議委員を拝命しまして、区の戦略もお聞きしています。産業を超えた「オールオクト」の土壌づくりの一助として、HICityで何をやるか決めたことを、しっかり実行していくことがSDGsの取り組みにもつながってくと考えています。HICityは天空橋駅直結で、空港に近いばかりでなく品川駅や東京駅にも出やすい。今後、新空港線（蒲蒲線）ができるので、町工場、商店街、住宅地と、多様性・多面性を見せる大田区の価値がさらに高まってくると思っています。

海老名 伸哉 / 自社では、難易度の高い素材への電気めっき・無電解めっき加工を行っている。大田区SDGs推進会議委員



ゾーンK内 METALISM拠点ラウンジ

METALISM / ものづくりにおけるあらゆる構想・課題解決に取り組む、エビナ電化工業(株)、(株)エムイ精工、(株)金属被膜研究所、(株)タムエスエー、(株)藤田ワークス、(有)星月塗工研究所、(株)リブスワークスの7社によるユニット。令和3年にHICityゾーンKに活動拠点となるラウンジを開業